



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り  
令和6年10月23日  
文責：校長 江上 知男



事後学習(1年)

## 「不審者避難訓練」を実施！

10月17日(木)に、「不審者対応」訓練を実施しました。「学校は安全な場所であるべき」ですが、「多くの人が集う」学校で、それを維持するのは極めて困難です。過去には凶悪犯が学校で事件を起こした例もあります。また、学校に限定しない不審者事件は、毎日のように起きています。

当日は、校内放送で「●●●●」という合言葉を使って不審者の侵入を全校に知らせ、職員は不審者対応、子どもたちは安全確保の練習をしました。

その後、各学級で「学校に不審者が入った場合の対応」「学校外で不審者に遭遇した時の対応」等について担任から指導をしました。私は、1年生への指導を見ていたのですが、子どもたちは真剣に話を聞いたり、考えたりしていました。

今後、保護者や地域の方々に、本校職員から「大変失礼ですがどちら様でしょうか」という類いの声かけをさせていただくことがあるかも知れません。そんなときは、「学校の安全を守ろうと思っているのだな」とご理解いただき、どうか失礼をお許しください。ご協力をお願いします。

## 5年生が「水俣病で」学ぶ！

5年生は、10月11日(金)に「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施し、水俣病問題や環境問題についての「現地学習」を行いました。

「水俣病」についてはご存知と思いますが、チッソという水俣の工場が、科学的な処理をせず海に流したメチル水銀を原因とする「公害病」です。メチル水銀は、魚介類を経て、それを食べた人間の中枢神経を破壊し、多くの人の命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりしました。また、母親の胎盤を通して、生まれながらに障がいをもつ胎児性患者を生みました。

今年で公式確認から68年という長い歳月を経た今も、多くの被害者が病や差別・偏見に傷つき、裁判が続いているという現実があります。命や健康よりも経済成長を優先する「社会構造のゆがみ」を象徴する「水俣病」問題は、決して「過去の出来事」ではなく、今を生きる私たちにも、「地球温暖化の問題」や「SNSによって起こる様々な問題」等々、「同じ根っこ」の問題を突きつけます。

5年生は今回とても貴重な経験をしました。「水俣病で学ぶ」ことはとても大切なことです。さらに、子どもたちには「実は似たようなことは身の回りにあり、学んだことを活かす必要がある」ことに気付いてもらうためにも、ぜひ「水俣病で学ぶ」という考え方をしたいと思えます。5年生は、現在学習発表会に向けて、様々な角度から学んだことの「まとめ」をしているそうです。



＜地域からの情報＞ ①嘉島中からドラモリに向かう通りで、小学生が自転車の危ない乗り方をしたのを複数回見たので気を付けて欲しい。②開店したウインプラザ(旧カメラの中野)駐車場の出入りが、下校時間頃に多いようなので気を付けて欲しい。以上、2点の情報をいただきました。学校でも指導しますが、ご家庭でも指導をお願いします。